

社保シリーズ

咬調とインレブリッジ

8

社保研究部

前回のう蝕処置に引き続き、普処から独立した咬合調整について、インレブリッジの症例を交えて解説する。

〈症例解説〉

インレブリッジは、フルブリッジと比べ耐久性に難があるものの、患者が低侵襲や審美性を求めたため選択することがある。

保険上のインレブリッジは、06年の改定から少し定義が変わり、全ての支台歯がインレーの場合に限定された。インレブリッジは、補綴物維持管理料の対象外である。以前は、支台歯のいずれかがインレー形態であれば補管のしぼりがなかったが、06年4月以降は、支台歯にFCKや5分の4冠、4分の3冠があれば補管の対象になった。

さて、インレブリッジの支台は、自ずと隣接面窩洞形態となるので、K P 複雑を算定する。印象採得や装着料はフルキャストと変わらない。もちろん平行測定も算定できる。

咬合調整は、9歯以下か10歯以上かで点数が区分されており、1初診1回限りが原則になっている。ただし、冠過高時の削合など、通知上の回数制限がないものもあるので整理が必要になる(下表参照)。また、算定要件で「1回限り」となっているが、病名や目的が変われば、咬合調整の区分ごとに、それぞれ1回ずつ算定できる。症例では、初診日に「挺出歯」(歯冠形態修正)と「CK過高」でそれぞれ40点(9歯以下)ずつ算定している。病名と部位、削合目的の違いが明確なので、レセプトの記載は、「咬調」欄に「40×2」としてもよい。ただし、Pに起因する咬合調整も併せて行っている場合は疑義が生じやすいので、返戻を予防する意味から、Pの咬調は「咬調」欄に、それ以外は「処置・手術のその他」欄に記載するほうが望ましい。

なお、「歯冠形態修正」での削合の場合は、摘要欄に形態修正した部位を記載しなければならない。

咬合調整の早見表

調整の区分	病名	算定
歯周疾患または歯軋りの処置のための削合	「P」「Brx」	歯数に応じて1回限り
鉤歯削合 鉤歯対合歯のレスト作製の際の削合	「Mal」 「Mal」(対合歯)	
残根削合	C4	
咬合性外傷 咬傷処置としての歯冠形態修正※	「咬合性外傷」 「P, Mal」 「Mal, 咬傷」	歯数に応じて
過重圧を受ける歯の鋭縁の削除 咬頭の過高部の削除 他院で製作された歯冠修復物などの過高部の削除	「Mal」「歯牙鋭縁」 「挺出歯」 「CK過高」	

※レセプト摘要欄に修正した部位を記載

形態修正前の状態、修正の理由、修正後の状態を記載する。

同一初診内の咬合調整でも病名や目的が変われば別途算定できる。

形成時の浸麻は不可だが、伝麻は算定できる。

支台歯のいずれかに、FCK、4/5冠、3/4冠があれば補管の対象になる。

部位	傷病名	診療開始日
4 5 6	MT	平成19年9月5日
7	CKダツリ	平成19年9月5日
8	挺出歯	平成19年9月5日
4	CK過高	平成19年9月5日
〔年齢〕 45歳, 男性		
〔主訴〕 左右の歯が抜けているところを治して欲しい 奥歯が舌にひっかかるところがある		
〔所見〕 4 5 6 部間隙狭小, 4, 8咬合調整等が必要		

月日	部位	療法・処置	点数
9 / 5		初診	180
	8	歯冠形態修正	40
		近心舌側に傾斜のため、舌がひっかかる。	/
		L面鋭縁部を中心に削合し7部との凹凸を緩和。	/
	4	CK過高 削合	40
	4 5 6 7	補診(文書提供, 添付)	100
		2歯欠損だが間隙が小さい, 7にOMインレーの形態でブリッジ作製。	/
		伝麻(OA+2%キシロカイン1.8ml) (38+7)	45
	4	生P Z	300
	7	K P (OM)	68
		連imp(寒天+アルジネート)	275
		B T	70
		平測 平行ミラーを用いて確認	50
		リテイナー	100
		仮セ (4×2)	8
9 / 10		再診	38
	4 5 6 7	ワンピースキャストブリッジset	150
		4 12%金バラ F C K	600
		7 12%金パラインレー	411
		5 12%金バラポンティック	615
		6 12%金バラポンティック	677
		接着材料 I (イオタイト) (16×2)	32
		補管(文書提供, 添付)	330
9 / 11		再診	38
	5 4 3	補診(文書提供, 添付)	/
		4は間隙狭小, 3は金属が見えないブリッジ作製。	/
	5 3	浸麻(OA+2%キシロカイン1.8ml)	/
	3	K P (LD)	68
	5	K P (MOD)	68
		連imp(寒天+アルジネート)	275
		B T	70
		平測 平行ミラーを用いて確認	50
		仮封	/
9 / 15		再診	38
	5 4 3	ワンピースキャストブリッジset	150
		5 12%金パラインレー	375
		4 12%金バラポンティック	615
		3 12%金パラインレー	375
		接着材料 I (パナビア) (16×2)	32
〔9月分 4日分 6,283点〕			